暮らすように楽しむ

東栄町のじかん 冬 2021

田舎暮らしの醍醐味

古民家DIY

東栄町へ移住して、自分スタイルの古民家暮らしを叶えた人々を紹介！

星野家｜東栄町9年目

↑お子さん2人の4人家族。新しい家での暮らしが待ち遠しい！

徹底大改造！3年目に突入した200平米以上の古民家

新潟県出身の星野克之さんは知り合いを通じて東栄町へ移住、「NPO法人てほへ」のスタッフとして働いている。茨城県出身で薬剤師の弓夏さんとは東日本大震災の際にボランティアに行った石巻で知り合い、東栄町に来てから結婚。この家は2018年に購入し、翌年から改修を開始。仕事の合間に主に夫婦で作業を進めている。床板は全て剥がし、断熱材を入れて組み直し。浴槽やシステムキッチンも掘り出し物の新品をネットで見つけ、パーツを探して設置した。この大きな家を仲間が気軽に集える場所にしたいと、近づく夢の完成を前に克之さんは話ってくれた。

↑大黒柱を含む柱の傾きも直したという、もはやプロのDIY職人

↑譲り受けた薪ストーブも修理して設置。見晴らしのよい高台に建つ大きな家だ。

DATA

地区／柿野、築年数／約150年、木造2階建
土地／建物面積230㎡、農地4900㎡、山林1900㎡

松平家｜東栄町5年目

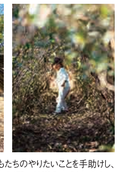
↑靖史さん作「清明くんのお店」。お店ごっこの想像力を掻き立て、「森のようちえん」でも子どもたちに大人気。

あるものを活かしながら自然体でアソビを楽しむ

自然学校やフリースクールのスタッフの経歴を持つ靖史さんは、帆奈美さんとともに幸田町から東栄町へ移住。現在夫婦で、カヤックや木登り体験など提供する「小さなくらしとウトアソビ」を主催している。自宅古民家は、あるものを再利用してDIY。木工職人でもあった靖史さんのノウハウと帆奈美さんのセンスが活かされた、くつろげる空間だ。パーマカルチャーの考えを取り入れ、仲間と田んぼをやったり、電力もソーラー発電でまかなうなど、自然に寄り添った暮らしをしている。

↑最初はお風呂だったというドラム缶の薪ストーブも自作。

↑ひとりひとりの個性を大事にしながら子どもたちのやりたいことを手助けし、自然の中で遊ぶプログラム「森のようちえん」。写真右は茶の木のトンネル。



DATA

地区／下田、木造1階建、築年数／約70年
「森のようちえん」は周辺の空き地を活用

池田家｜東栄町4年目

→広い土間に置かれた、ドラム缶を改造し自作した薪ストーブもさすがオシャレ。ストーブや七輪で料理もするそう。

アイアン家具作品のギャラリーを兼ねた場所づくり

神奈川県から東栄町小林地区に移住した池田大樹さんは、アイアン家具工房「大円商店」を構え、作品をネット販売しているモノづくりのプロ。自分の場所を持ち、好きなように田舎暮らしを楽しみたかった」と、当初借りて住んでいた場所近くで売りに出た空き家を購入。星野さん（上記事）の協力も得て改修し、昨年から住み始めたばかりだ。作家ならではの感性で、古民家にモダンさや無機質さを掛け合わせ、自分スタイルでDIYを楽しんでいる。

↑床や壁を大胆に改修。この空間は商品撮影のスタジオに。

DATA

地区／小林、築年数／約95年、木造平屋（屋根裏有）、元の間取り6Kを4LDKに　土地／畑、駐車場など

↑廃校の給食室を改修した工房（右上）と現在の自宅（右下）。消毒液を置くのに便利なアイアン脚のスタンドは売出し中の商品。

武者家｜東栄町8年目

↑公一さんにとってDIYは日常の一部。いつかは一人娘の弾（はずみ）ちゃんの部屋作りも考えているそう。

こだわりのDIY精神で理想の空間へと大変身

海外勤務時代に日本の田舎暮らしを想い描くようになり、2013年東栄町へ移住した武者公一さん。元々車やバイクの改造も好きで木工も学ぶなど、根っからのDIY好きだそう。仕事は現在、郵便局に勤務。町歩きや雑誌でリサーチしつつ、週末に自宅をDIYしている。2016年にピアノ教師の経歴を経て、別の地域で協力隊に携わっていた育さんが東栄へ。結婚してからは二人で家作りを手掛け、自然豊かな環境での家族暮らしを楽しんでいる。

↑木漏れ日が優しいリビング。ストーブコーナーは夫婦共同作。

DATA

地区／本郷、築年数／約100年、木造2階建
間取り／8LDK(178㎡)、土地／915㎡

↑弾ちゃんと仲良しの梵ちゃん。自然の中の散歩は気持ちいい。

↑広くすできなカウンター。料理好きな育さんの仕事場でもある。

山本家｜東栄町8年目

↑日頃から子どもたちの友達や地域の仲間が集う。50人ほどの大人数のキャンプイベントが行われたことも。

憧れの大きな古民家暮らし夢を叶えた場所に仲間が集まる

山本夫妻は奥さんの実家がある東栄町で2011年に古民家を購入し、湖西市から移住。最初の修繕だけは大工に頼んだが、床板の張替えから各部屋の内装、薪ストーブの設置など自らDIY。ハンモックやボルダリングコーナーなど遊び心のある空間作りも手掛け、2017年より月に2回、古民家カフェ「叶夢（かのん）」を営業している。研一さんは普段は町内の「奏楽工房」に勤務し、ログハウスや遊具など製作。木工のスキルをさらに磨きながら、夢のある暮らしを拡大中だ。

↑子どもたちの要望に応えて、それぞれの部屋を作ってあげた。

DATA

地区／川角、築年数／約160年、木造2階建（1階7K、2階は1フロアに）、土地／宅地300坪、畑・田も各300坪

↑ワンフロアに改装された雰囲気たっぷりの2階。カフェ営業日は月替わりランチや手作りおやつなどがいただける。和紙の明かりは研二さんの作品。

東栄町のじかん 冬 2021

発行／東栄町観光まちづくり協会
企画・取材・原稿・撮影／マルカイ　デザイン監修／星原真央美
住 所／〒449-0206 東栄町大字下田軍山13-7
お問い合わせ／0536-76-1780（水曜定休日）
発行日／2021年2月20日
※本誌に掲載されている情報は2020年2月20日現在のものです。
観光情報はホームページをご覧ください。 東栄町のじかん 検索

「東栄を応援したい」サポーター募集中！

東栄町観光まちづくり協会は、観光まちづくり事業を通じて、魅力あるまちを未来へつないでいくために活動しています。そんな活動に賛同し、応援いただける会員様を募集しています。皆様のご協力をよろしくお願いします。

会費　1口年額1,000円以上

賛助会員　1口以上　正会員　2口以上

Pick up スポット！

尾籠地区「尾籠の岩山」の道中にはミツマタ群生地があり、可憐な黄色い花が楽しめます。4月頃は集落の中心で花桃が咲き乱れる様子も圧巻。

＼フォローしてね♪／

Instagram

ミツマタ群生地（尾籠地区）

雲海の里で食す 蕎麦とかき氷
そば処 茶禅一 CHA ZEN ICHI
営業時間 蕎麦 11:00～14:00 かき氷 11:30～15:00
定休日 水曜・木曜（個別休業あり）
有限会社おもてや園
北設楽郡東栄町御園坂場118-10
TEL 0536-76-0621

大崎屋旅館
御宿 泊1泊2食付7500円-他
御食事 予約制、2名様より
猪爽鍋、奥三河産ジビエ（猪、鹿）
春は蕗も採りはじめとする地元産山菜
夏から秋は摘草川魚熱帯料理
喫茶おたましゃくし
テイクアウト ランチ お惣菜　カフェ 地元産 鮎甘露煮 鮎田楽の素 鹿のしぐれ煮
北設楽郡東栄町下田和手貫津1-1Z
TEL 0536-76-0046

東栄町のよいもの
maru-kai
手作り雑貨　特産品
@marukaitoei
@marukai_toei
@marukai_toei
基本営業日：日曜と月曜
（営業日はSNSでご確認ください）
営業時間：10時～17時ごろ
JR東栄駅前 TEL:0536-76-1701

焼肉 精肉販売 しいたけ狩 カラオケ 熱帯魚
東宝苑 とうほうえん
旬のおすすめ情報
しいたけ狩り
入場料無料！
採った分は購入し炭焼きやお土産に♪
原木から収穫体験！
レストラン 営業時間／11:00～14:00 17:00～21:00（L.O.20:30）
定休日／水曜午後、土曜午後、日曜

精肉販売 やまのお肉屋さん 営業時間 11:00～16:30
毎月29日はニクの日
感謝セール 実施中！
美味しいお肉をおうちで！
セール情報はHPをチェック！
東栄町下田迫分 8-1
TEL：0536-76-1151
東宝苑

Café のっきぃ
のき山文庫の本も読めるよ
木造校舎の懐かしい雰囲気
校庭を眺めながらのんびり
学校給食セット
ドリンク各種 390円～
ケーキセット 650円～
食事メニュー 学校給食セット1000円 他いろいろ
営業時間／10:00～16:00（土・日・祝のみ9:00より営業）
定休日／水曜・木曜
東栄町下田軍山13-7（駐車場有）
カフェのっきぃ
TEL：0536-76-1722